

NEWS RELEASE



平成 21 年 10 月 23 日 14 時 資料配布

配布先
神戸海運記者クラブ

この件に関するお問い合わせ先
神戸運輸監理部総務企画部企画課（企画観光室） （担当）塚本（室長）、西尾（企画担当係長） （電話）078-321-3144

たこフェリー 「船に手軽に乗れる」魅力をPR ～観光による利用促進方策（まとめ）～

神戸運輸監理部は、高速道路料金の引下げにより、大きな影響を受けている明石海峡航路のフェリー利用促進を図るため、今年5月に地域関係者からなる委員会を設置しました。利用促進方策として更なる価格競争や生活交通としての地域住民による大幅な利用増加を図ることは限界であることから、委員会では観光による交流人口を増やすために、フェリーならではの魅力を探り、その利用促進方策を取りまとめました。

その結果、**重点ターゲットをファミリー層、自転車・125CC未満のバイク利用者**として、たこフェリーの都市部に近く交通アクセスの良さも含めた「安・近・短」と、世界一の長さを誇る明石海峡大橋を下から眺められる魅力を活かして、「**船に手軽に乗れる**」ことを**ホームページやYouTube**といった**電子媒体等により発信すること**等が提案されました。さらに提案された中で、直ぐに対応可能な方策については即座に実施し、利用促進を図りました。

また委員会では、たこフェリーのPRのため、フェリーと地域の魅力を活かしたリーフレットを作成し、サービスエリアやバイク・サイクルショップ、集客施設等へ配布し、利用促進を図りました。

なお、利用促進方策の概要は、別添のとおりです。

委員会名：観光による明石海峡航路のフェリー利用促進方策調査検討委員会		
委員構成		委員会開催日
森 隆行	流通科学大学商学部教授	第1回委員会：H21.5.29
國安 亜津志	明石淡路フェリー(株)営業部次長	第2回委員会：H21.8.6
小西 敏敬	明石市産業振興部観光振興課長	第3回委員会：H21.9.15
岩本 喜文	淡路市産業振興部観光政策課長	
白髭 康治	明石観光協会事務局長	
中谷 善行	淡路市観光協会事務局長	
大町 聡	(株)神戸新聞社メディア局デジタル情報部長	
加藤 栄	神戸運輸監理部総務企画部海事交通計画調整官	
石定 正則	同 海事振興部旅客課長	

観光による明石海峡航路のフェリー利用促進調査報告書

概 要 版

国土交通省 神戸運輸監理部

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本州と淡路島は明石海峡大橋の陸上ルート以外に明石・岩屋を結ぶ海上ルートがあり、現在、旅客船とフェリーが運航しており、通勤・通学者が利用する重要な地域交通である。とりわけフェリーは、事故や災害で明石海峡大橋が通行止めとなった場合の代替輸送ルートであると同時に、同大橋を通行できない小型バイク（125cc未満）にとっては唯一の交通手段となっている。しかしながら、度重なる高速道路料金の引き下げや燃料高騰により、フェリー事業者の経営状況はますます厳しさを増し、ゴールデンウィークや夏休み等の多客期の動向次第では航路の存続が危ぶまれる状況となった。

本調査では、効率性・価格優位性が最優先されるトラックの輸送等に価格競争で対抗することも限界があり、また、生活交通としての地域住民による大幅な増加を図ることも現実的でない中、フェリーを利用した観光に着目し、実現可能なものから速やかに具現化していくための利用促進方策を短期集中的に検討することとした。

2. 調査の内容

明石淡路フェリー（以下、たこフェリー）利用促進方策を検討するために、ツーリング等によるフェリーの利用促進にかかる調査、および先進好事例調査を以下のとおり実施した。

概要	対象	手法	内容など
1) ツーリング等によるフェリーの利用促進にかかる調査	バイクショップ・ サイクルショップ (兵庫県南部の バイク・スポーツサイクル取扱店)	電話ヒアリング	・近畿地方・淡路島へのツーリング動向 ・たこフェリー利用促進に向けた連携の可能性
	ツーリング愛好家 (京阪神在住で、兵庫県へツーリングに行ったことのある方)	インターネット アンケート	・淡路島へのツーリング動向 ・たこフェリーの利用動向
	淡路SA・ 道の駅あわじ来訪者	面接アンケート	・SA・道の駅来訪者の属性 ・たこフェリー利用動向 ・明石市・淡路島訪問動向
	たこフェリー利用客	面接アンケート	・たこフェリー利用者の属性 ・たこフェリー利用の感想 ・明石市・淡路島訪問動向
2) 先進好事例調査	各地事例	資料収集	・観光客全般を対象とした取り組み ・自転車利用者を対象とした取り組み

II. 二輪車と乗用車の利用を促進するためのリーフレットの作成

二輪車と乗用車のたこフェリー利用を促進することを目的とし、たこフェリーや明石港・岩屋港周辺の魅力などを紹介するリーフレットを、二輪車向け・乗用車向けそれぞれに作成し、ヒアリング調査対象のバイクショップ・サイクルショップや、周辺のサービスエリア等に配布した。

1) 二輪車向けリーフレット（A4サイズ・三つ折り）

(表)

やっぱりツーリングはたこフェリー

理由 その1 カップルがおトク!
 たっぷりお楽しみください。二輪車にカップルで乗船の必要料金も二人で合わせて乗客料金1名様と同額です。だから、やっぱりたこフェリー!

理由 その2 バイク・自転車もオッケー!
 明石海峡大橋は、139m以下のバイク、自転車、人も通れます。でも、たこフェリーは大丈夫。ラッピング、運動、通学の強い味方です。だから、やっぱりたこフェリー!

理由 その3 海からの眺めを堪能!
 約30分ゆめさくらコースまで船は30分。海上からの眺めは明石海峡大橋は味わえない特別なもの。ご家族、ご友達との思い出も残るまでご利用ください。だから、やっぱりたこフェリー!

たこフェリー
 明石渡路フェリー株式会社
 兵庫県明石市南門2-1-1 TEL. 079-811-2872
 ホームページ: <http://www.takoferry.com>
 ツーリングショップ: <http://takoferry.com>

くわしくは 国土交通省神戸産業振興部のホームページで
<http://www.tml.go.jp/kobe/barrierfree/index.html>

お問い合わせは たこフェリー
 明石渡路フェリー株式会社
 兵庫県明石市南門2-1-1 TEL. 079-811-2872
 ホームページ: <http://www.takoferry.com>
 ツーリングショップ: <http://takoferry.com>

やっぱりツーリングはたこで
 その理由はホームページへ

たこフェリー
 明石渡路フェリー株式会社
 ツーリングショップ

(裏)

バイク・自転車のみなさんへ
 ご家族やお友達とぶらっとツーリング。お早寝でおいしい【おすすめグルメスポット】ご紹介!!

ご当地グルメ代官 明石といえは明石焼(玉子焼)!
【おすすめ明石焼】ご紹介
 元正徳年間創業の老舗の1号
水家 きむらや
 創業1907年。創業から100年を超える歴史。お早寝でおいしい。お早寝でおいしい。お早寝でおいしい。
 〒673-0204 明石市南門4-1-7
 TEL. 079-811-2872
 営業時間 11:00~18:00
 駐車場あり 10台

明石港
 明石海峡大橋(全長長2411m)
 明石港
 岩屋港
 淡路島
 徳島県
 高松市
 高松市
 高松市

クルマではなかなか行けない! 旅情ならはの【おすすめグルメ】ご紹介
真心 (マヨネーズ)
 創業1907年。創業から100年を超える歴史。お早寝でおいしい。お早寝でおいしい。お早寝でおいしい。
 〒673-0204 明石市南門4-1-7
 TEL. 079-811-2872
 営業時間 11:00~18:00
 駐車場あり 10台

地元産しか知らない? 数橋焼き 志田 (した)
 創業1907年。創業から100年を超える歴史。お早寝でおいしい。お早寝でおいしい。お早寝でおいしい。
 〒673-0204 明石市南門4-1-7
 TEL. 079-811-2872
 営業時間 11:00~18:00
 駐車場あり 10台

フードコート さくら
 〒673-0204 明石市南門4-1-7
 TEL. 079-811-2872
 営業時間 11:00~18:00
 駐車場あり 10台

道の駅あわじ
 〒673-0204 明石市南門4-1-7
 TEL. 079-811-2872
 営業時間 11:00~18:00
 駐車場あり 10台

パルシェ寄りの顔
 〒673-0204 明石市南門4-1-7
 TEL. 079-811-2872
 営業時間 11:00~18:00
 駐車場あり 10台

Ⅲ. 航路の維持・活性化に向けた方策

1. 観光による明石海峡航路のフェリー利用促進

■フェリー利用促進の方向性

各調査結果から、観光の視点から見た明石淡路フェリー（たこフェリー）利用促進の方策について、以下のとおり整理する。

○利用促進方策の基本方針

明石海峡関係者が一体となって、たこフェリーの魅力を情報発信する。

- ・面接アンケートの結果、淡路島来訪者（淡路SA・道の駅あわじ利用者）がたこフェリーを利用しない理由は、「高速道路の方が便利（早い・安い）」がもっとも多く（74%）、次いで「たこフェリーを知らなかった」（15%）が多いことが明らかとなった。
- ・2009年9月現在、たこフェリーと明石海峡大橋（ETC割引利用）の料金は、休日の中型車以上の車種を除き、明石海峡大橋がすべての車種において安い。今後の高速道路の料金引下などにより、その差はさらに広がることが予想され、フェリーの利用者は「割高な料金を払っても利用する価値がある」と感じる層に、さらに限定されると考えられる。
- ・このため、観光によるたこフェリーの利用促進には、今後増加が見込まれる、あるいは利用の必要性がある層に向け、たこフェリーと、明石市・淡路市など自治体をはじめとした明石海峡の関係者が一体となって、たこフェリーの魅力を情報発信することが重要と考えられる。

○重点ターゲットの設定

ファミリー層、自転車・125cc未満バイク利用者を重点ターゲットに設定する。

- ・たこフェリー利用者アンケートの結果、来訪目的は観光が多く（55%）、また同行者数は2～4人が多く（70%）、観光目的のファミリー層による利用が多いことが明らかとなった。
- ・インターネットアンケート調査の結果、淡路島にツーリングで行くのは125cc以上のライダーとサイクリストが多い（90%）ことが明らかとなった。
- ・またヒアリング調査の結果、125cc以上のライダーの大部分は淡路島に行くとき、多くの場合明石海峡大橋を利用していると考えられる。
- ・環境にやさしく健康にもよい自転車は、地球温暖化への社会的意識の高まりなどにより、これまで以上に関心が高まりつつあり、自動車・バイクからの乗換などによる利用者の増加が期待されている。
- ・125cc未満のライダーの淡路島への移動手段は、現在フェリーだけであり、引き続き維持・確保する必要がある。
- ・このため、たこフェリーの利用促進の重点ターゲットを、ファミリー層・自転車利用者、および125cc未満のバイク利用者と設定する。

■フェリー利用促進方策

明石海峡関係者が一体となって推進する利用促進方策を、以下のとおり整理する。

1) 観光客全般向けの利用促進方策

関係者	方策
たこフェリー	<ul style="list-style-type: none">・ファミリー向け「海で船に手軽に乗れる」ことの情報発信・明石海峡周辺でのクルーズイベント実施
明石海峡関係者 (自治体・観光協会など)	<ul style="list-style-type: none">・明石海峡観光ガイドマップ・ガイドブックの発行・明石海峡観光ボランティアの充実・明石海峡観光割引クーポンの発行・明石海峡観光関係者が一体となる組織の設置・運営

[たこフェリーによる利用促進方策]

○ファミリー向け「海で船に手軽に乗れる」ことの情報発信

たこフェリー利用者アンケート調査の結果、たこフェリー利用の目的に「子供の“船に乗ってみたい”というリクエストに応えるため」という回答が見られた。

明石海峡大橋をはじめとした大規模な架橋の整備などによる海上交通の減少に伴い、子供が海に接し船に乗る機会は減少しており、たこフェリーは都市部に近く、交通アクセスの良さも含めた「安・近・短」と世界一の長さを誇る明石海峡大橋を下から眺められる特徴・魅力を活かし、たこフェリーHPやYoutubeなどのインターネット上、およびチラシ・リーフレットなど紙面などにより「海で船に手軽に乗れる」ことを情報発信することは、ファミリー層におけるたこフェリー利用者の増加につながると考えられる。

○明石海峡周辺でのクルーズイベント実施

上記情報発信と同時に、明石海峡周辺の周遊クルーズイベントなど、周辺自治体等と協力・連携した、ファミリー層が関心を持つような「海で船に手軽に乗れる」イベントを実施することは、たこフェリー利用者の増加につながると考えられる。

[明石海峡関係者（自治体・観光協会など）による利用促進方策]

○明石海峡観光ガイドマップ・ガイドブックの発行

明石海峡全体を観光目的地とする来訪者が増加することは、たこフェリーを利用する観光客の増加に直結するため、利用促進方策として有効と考えられる。

来訪者の増加において重要な要素の一つは情報発信であり、明石海峡全体の魅力や周遊プラン、訪問先の魅力などを紹介するガイドマップやガイドブックの発行が有効な手段として考えられる。

○明石海峡観光ボランティアの取り組みの充実

来訪者の増加において重要な要素の一つは観光ボランティアの充実であるが、明石側には多数の観光ボランティアガイドが活躍しているものの、岩屋側では人手が少なく柔軟に対応しにくいのが現状である。

明石側のボランティアガイドが、たこフェリーに乗って海上からの案内をしたり、操舵室を案内するなど、これまでなかった取り組みを可能な範囲で継続的に展開することにより、明石海峡が一体となった観光ボランティア体制が充実することが期待される。

○明石海峡観光割引クーポンの発行

たこフェリー利用者アンケートにおいて、「今後実施されたら参加・利用したい取り組み」として、回答率が最も高かったのは「明石海峡兩岸の割引クーポンの発行」（41%）であった。

現在、淡路側施設とたこフェリーとの割引クーポンはあるが、兩岸地域の集客施設、食事処、土産物店などにおいて割引を受けることができる、セットとなったクーポン券を発行することは、来訪者の増加に有効と考えられる。

○明石海峡観光関係者が一体となる組織の設置・運営

明石海峡が一体となった観光地としての取り組み・情報発信は、自治体・交通事業者・各集客施設などが個別に行うのではなく、関係者が一体となって実施することにより、提供サービスの漏れ・重複を防ぎ、かつサービス間の相乗効果が期待できる。

また、たこフェリー魅力向上のために、たとえば岩屋港周辺で朝市などを実施したり、岩屋港周辺で周辺の大学と連携してイベントなどを開催する場合、たこフェリーや自治体が単独で開催することは難しく、周辺住民の継続的な協力が必要となるため、関係者が一体となって取り組む必要がある。

このため、明石海峡観光の関係者が一体となって取り組みを展開することは、明石海峡観光の推進に重要であり、既存組織などと連携した新しい枠組みでの検討や、一連の取り組みの展開が期待される。

2) 自転車・125cc 未満バイク利用者向けの利用促進方策

関係者	方策
たこフェリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ ツーリング利用者向け情報発信の強化 ・ 積載可能台数の増加 ・ パンク等の故障・修理対応サービスの充実
明石海峡関係者 (自治体・観光協会など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 淡路島全島のサイクリングマップなどの制作・配布 ・ レンタルサイクルのシステム構築による海峡観光の促進 ・ 大規模なツーリングイベントの実施 ・ ツーリング利用者向け宿泊施設の充実 ・ パンク等の故障・修理対応サービスの充実

[たこフェリーによる利用促進方策]

○ ツーリング利用者向け情報発信の強化

ヒアリング調査により、淡路島は近畿地方における主要なツーリング目的地として認知されていることが明らかとなった。

併せてインターネットアンケート調査により、ツーリング利用者にとってのたこフェリーの魅力として「ツーリング途中のよい休憩時間になる」「明石海峡大橋を下から眺められる」「潮の香り、風を肌で感じるができる」「行き交う船を見ているのが楽しい」などの点が挙げられる一方、たこフェリーを利用したことがない人は、利用したことがある人に比べて「乗船手続きが面倒」「バイク・自転車を傷めないか不安」と感じていると考えられる。

このため、「ツーリング途中のよい休憩時間になる」「明石海峡大橋を下から眺められ楽しい」「潮の香り、風を肌で感じるできて心地よい」「行き交う船を見ているのが楽しい」「乗船手続は簡単」「バイク・自転車を傷める心配はない」というプラスのイメージ情報を、兵庫県内外のライダー・サイクリストに向け、インターネット上、および雑誌などにより発信することが、淡路島へのツーリング目的によるたこフェリー利用者の増加に重要である。(調査の実施後、たこフェリーHPにて対応済み)

○ 積載可能台数の増加

ツーリング利用者のうち、特にサイクリストが、「船が頻繁に出ていない」「混んでいたら次の船を待たなければならない」と考える割合が高く、たこフェリーの1便あたりの積載台数の改善が求められていることが明らかとなった。

これを受けて、二輪の積載台数を18台から25台に増やす改善をしたが、サイクリング目的での自転車の利用は曜日・時間帯によって波があることから、自転車用の可動式ラックなど工夫した対応が必要である。

○ パンク等の故障・修理対応サービスの充実

ツーリング利用者にとって、タイヤのパンクなど故障のトラブルに対応しやすいことは、ツーリング目的地として重要な要素である。

明石港・岩屋港で修理・メンテナンスに対応できる工具を無料で貸し出すことにより、ツーリング利用者の利便性は大きく向上するものと考えられる。

[明石海峡関係者（自治体・観光協会など）による利用促進方策]

○淡路島全島のサイクリングマップなどの制作・配布

ツーリングの計画・実施のために重要な情報は、交通量や目的地へのルート、道路の勾配・路面状態、駐車場・コンビニ・バイクショップ・サイクルショップの位置など「行程の情報」が挙げられるが、情報源としてショップの情報が重要視される割合が高く、一般に入手可能な情報が限られていると考えられる。

淡路島一周のサイクリングマップなど、ツーリング情報を充実させることがツーリング目的地としての淡路島の認知度向上に向け重要である。ツーリングマップは、兵庫県外のバイクショップ・サイクルショップや、ツーリングチームを運営する運転教習所などに配布することが有効と考えられる。また、印刷物を配布することに加えて、インターネット上で入手可能とするなど、より多くの人が入手・利用しやすいよう工夫することが重要である。（淡路島観光圏協議会において制作済み）

○レンタルサイクルのシステム構築による海峡観光の促進

環境にやさしく健康にもよい自転車は、地球温暖化への社会的意識の高まりなどにより、これまで以上に関心が高まりつつあり、自動車・バイクからの乗換などによる利用者の増加が期待されている。

明石海峡観光の拠点である明石駅・明石港・岩屋港にレンタルサイクルのシステムを構築することにより、電車など公共交通機関を利用した明石海峡観光の促進につながると思われる。また電動自転車を導入することにより、明石港周辺・淡路島外周にとどまらない海峡全体の観光促進が期待される。

○大規模なツーリングイベントの実施

ツーリング目的の来訪者の増加のためには、ツーリング目的地としての全国的な認知度の向上が重要である。

大規模なツーリングイベントの開催により認知度が向上し、年間を通じた来訪者の増加につながった佐渡島の事例もあり、数千人規模の淡路島一周のツーリングイベントを関係者が一体となって開催することにより、淡路島がツーリング目的地として全国的に認知され、来訪者の増加につながることが期待される。

○パンク等の故障・修理対応サービスの充実

ツーリング利用者にとって、タイヤのパンクなど故障のトラブルに対応しやすいことは、ツーリング目的地として重要な要素であると考えられる。

明石港・岩屋港に限らず、島内のコンビニエンスストアなどで修理・メンテナンスに対応できる工具を無料で貸し出すことにより、ツーリング利用者の利便性は大きく向上するものと考えられる。

○ツーリング利用者向け宿泊施設の充実

スポーツサイクルは、100万円を超える高価なものもあるが、持ち運びが容易であるため盗難のリスクが高いなど、ツーリング利用者には一般の観光客とは異なるニーズがある。

宿泊施設においては、駐車スペースの安全性確保など、ツーリング利用者のニーズに応じた設備・サービスを充実させることにより、宿泊客の増加が期待される。

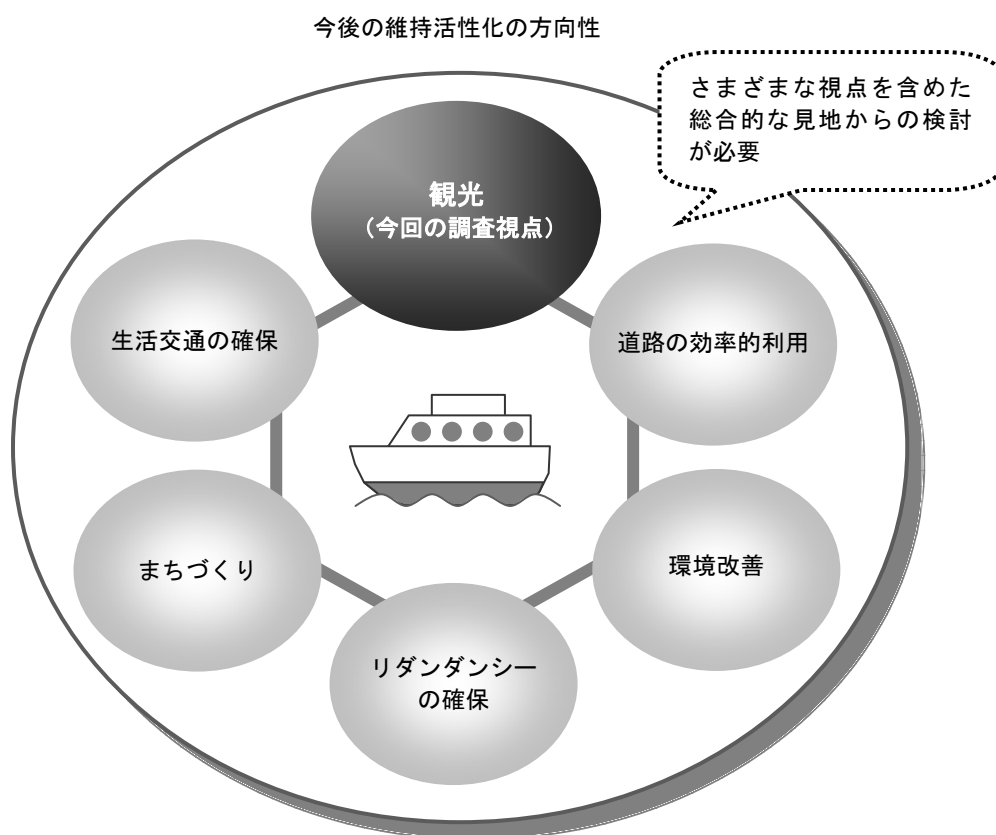
2. 今後の維持活性化の方向性

○総合的な見地からの検討の必要性

本調査において実施したさまざまなアンケート調査結果により、観光を切り口としたたこフェリーの利用促進にあたっては、ファミリー層、自転車・125cc未満バイク利用者を中心とした利用者向けの情報発信・サービスの提供を、明石海峡関係者が一体となって展開すること重要であることが明らかとなった。

高速道路の更なる料金引下などにより、明石海峡大橋の利用者増加が予想される現在、たこフェリーを含めた今後の明石海峡航路のあり方を考えるにあたっては、本調査における観光という切り口に加え、生活交通の確保やまちづくり、渋滞緩和による道路の効率的利用、交通安全、環境改善、災害時におけるリダンダンシー（補完性）の確保といったさまざまな視点を含めた、明石海峡航路の維持活性化に向けた総合的な見地からの検討も必要である。

しかし、本調査委員会では観光関係者により観光に着目した視点で検討したため、総合的な見地からの検討はできていない。したがって、以下に述べる事項は、最近全国的に取り組まれている手法を示したものであるが、本地域においてもこれらを参考に総合的な見地からの検討が進むことを期待する。



○総合的な見地からの検討のあり方と参考事例

地域公共交通の維持・活性化は、全国的な課題であり、そのため平成 19 年 10 月に施行された地域公共交通活性化・再生法に基づき、地域ごとに関係者による協議会を設置し、そこでまとめられた計画に基づき、コミュニティバスなどの実証運行や、そのための車両整備や待合所整備、共通切符の販売など様々な創意工夫した総合事業が全国で進められている。

旅客船を活用した航路の維持・活性化には、下表をはじめとしたさまざまな先行事例が調査・計画・実施されている。

それぞれの地域の置かれた状況は千差万別であり、その処方も一様ではないが、良く似た状況における事例を参考にし、他事例における検討プロセスや創意工夫・知見・教訓に学ぶことを通じ、地域の与えられた状況に応じた航路の維持・活性化の方策を検討・実施することが重要である。

(航路の維持・活性化における旅客船の調査・計画事例)

地域	運営事業者など	概要
新潟県佐渡市	佐渡汽船	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光メニューの創造と発信 ・運賃の多様化・手続きのスマート化 ・ホスピタリティ向上 など
三重県鳥羽市	鳥羽市営定期船	<ul style="list-style-type: none"> ・新規開設航路の実証運航 ・マリンターミナル待合環境整備 ・高速船導入 P R など
広島県江田島市	芸備商船など	<ul style="list-style-type: none"> ・航路の合理化・効率化 ・交通空白不便地域における対応 ・バス事業の効率化 など
島根県海士町・ 隠岐の島町・ 西ノ島町・知夫村	隠岐汽船	<ul style="list-style-type: none"> ・現行超高速船の特別整備 ・観光客誘致に向けた観光情報提供 ・ターミナルの売店・観光案内施設整備 ・二次交通マップや周遊券の造成 など
山口県周南市、 大分県国東市・ 豊後高田市	周防灘フェリー	<ul style="list-style-type: none"> ・国東半島～周南航路の維持・活性化 ・利用者ニーズ把握調査 ・航路利用モニターツアー など
長崎県松浦市	鷹島汽船 金子廻漕	<ul style="list-style-type: none"> ・橋の開通により、利用客が減少しているフェリー 2 航路の再編整備 ・利用者及び住民アンケート調査 ・航路再編に向けた調査 ・利用者確保に向けた利便性向上調査

(国土交通省「地域公共交通活性化・再生総合事業 認定状況・事例一覧 (平成 21 年度)」より抜粋)

